

# あつめよう

“ 農地集積でより良い営農を築こう ”



名取市下増田 「農業生産法人(有)耕谷アグリサービス」のメンバー

## 農地集積に関する各地の主な行事等

- 大河原地方農地集積指導チーム : 3月14日 H24年度経営体育成促進事業等の実施状況報告に係るヒアリング  
／村田町役場東庁舎3階会議室
- 仙台地方農地集積指導チーム : 2月12日～2月13日 H24農地集積状況確認調査／亘理土地改良区外 (実施分)
- 北部地方農地集積指導チーム : 2月25日～3月15日 H24農地集積状況確認調査／大崎土地改良区外
- 栗原地域農地集積指導チーム : 2月15日 H24農地集積に関する情報交換会／栗原市若柳総合文化センター  
(開催済)
- 登米地域農地集積指導チーム : 2月19日～2月21日 H24農地集積状況確認調査及び第3回農地集積戦略会議  
／津山土地改良区外 (実施分)
- 東部地方農地集積指導チーム : 3月12日～3月14日 第3回農地集積戦略会議／河南矢本土地改良区外
- 農村整備課 : 3月中旬 平成24年度集積速報値取りまとめ
- 宮城県農業公社 : 各事務所主催の確認調査及び戦略会議等へ参加
- 農地集積センター : 各事務所主催の確認調査及び戦略会議等へ参加  
: 3月から農地集積センターのホームページをリニューアルしました。

農地集積センター

# 特集：おらほの担い手

## 1. 館腰2期地区の計画概要

事業名：県営ほ場整備事業  
関係市町村：名取市・岩沼市  
関係土地改良区：名取土地改良区  
工期：昭和58年度～平成6年度  
受益面積：A=165.2ha  
農家戸数：292戸  
総事業費：1,279百万円



## 2. 法人の営農スタイル

(有)耕谷アグリサービスは、宮城県名取市耕谷地域の担い手組織として、平成15年1月に役員4名、社員2名で設立されています。

経営としては、ライスセンターや高性能農業機械を整備して、農地集積を図りながら環境保全型農業に取り組み、水稲・麦・大豆の作付拡大と高収益作物・農産加工を導入し、集落ぐるみの農業を展開しています。

また、農業体験会やモニター料理教室を開催し、都市と農村の交流を積極的に進め、人と自然に優しい農業を展開しています。

事業内容は、①農産物の生産・加工・販売に関する事業、②農作業の受託に関する事業、③用排水施設の維持作業の請負、④除草及び除雪作業の請負、⑤公園・緑地及び庭園の管理、⑥その他付帯する一切の事業を展開を掲げ、地域と共に役職員一丸となって取り組んでいます。

現在、名取・岩沼市で進められているほ場整備事業の担い手の一員としての更なる活躍と、既に活動している「東北コットンプロジェクト」に参加し、津波被害を受けた農地を塩害に強い「綿」へ転作することで、東北の「農業再生」「雇用創出」「新産業」による震災復興を目指す取り組みにも積極的に参加しています。

特に、耕谷アグリにとって新たな作物として、稲作等が困難な農地で栽培した綿が紡績から商品化し販売される流通への挑戦でもあります。

その先には耕谷で栽培される作物のブランド化へ結び付くことが期待されています。



## 3. 法人化までの経過と目的

### ■法人化するまでの経緯

耕谷アグリは、昭和58年度から始まった県営ほ場整備事業を契機に地区の転作を担う組織として「耕谷集団転作組合(当初10戸)」を設立し、ブロックローテーションによる麦の集団転作から始まり、その後、麦と大豆の2年3作体系栽培を実施してきております。

一方、集落内では担い手の高齢化や兼業化が進み、また施設設備の老朽化や個別完結型経営による非効率な新規投資(農機具等)により将来農業の不安を強く感じるようになったそうです。

このような状況から当時、集落内では集落営農の必要性が叫ばれ、幾度となく話し合いを重ねております。

幸い、耕谷地区には生産調整のための「耕谷地区生産調整対策協議会」があり、この組織を集落営農を目標とした「耕谷地区集落農業推進対策協議会」に衣替えし、さらにその下部組織として農家代表、女性代表、青年代表、委託者代表からなる「集落営農推進部会」を設置し、集落営農ビジョン策定に向けた話し合いを行っています。(まさに人・農地プランの先駆けと言えます。)

その後、集落営農ビジョンに沿った形で、耕谷集団転作組合を発展的に解消し、平成15年1月、4戸の担い手により農業生産法人「(有)耕谷アグリサービス」を設立しています。

### ■法人化する最大の目的

法人化する最大の目的は、地域と共に活力と魅力ある農業を築くため、若い人材を活用し、安定した経営と迅速な決断、そして実行を容易にすることが可能になるところです。

## 4. 会社概要

### 会社理念

#### 地域、自然との共生を目指し、土地利用型農業を実践します。

宮城県ほぼ中央に位置し、名取、阿武隈川の両水系に囲まれた肥沃な土地が広がり、また気候も温暖で自然条件に恵まれた土地柄である。

私たちは、恵まれた自然を活かし土地利用型農業を通じて地域に貢献して参ります。

(※ 会社理念をそのまま掲示しております。)

### 概 要

会社名	有限会社 耕谷アグリサービス
設 立	平成15年1月8日
資本金	680万円
役 員	4名(代表取締役・取締役3名)
社員数	13名(従業員7名、パート2名、ヘルパー4名)

### 経営面積

■ 利用権設定91.0ha(101名)、作業受託6.7ha(6名)※H24.8.1現在

(うちH24作付状況) ※この作付状況は、震災復興で進められている名取地区の実施区域内です。

○ 耕作面積 53.8ha(利用権設定39.5ha、作業受託14.3ha) / 165.2ha(館腰2期) = 32.5%  
(作付内容) 水稲28.7ha、大豆24.4ha、その他0.7ha ※一部、館腰1期分含み

● うち耕谷地区耕作面積23.8ha(利用権設定13.8ha、作業受託10.0ha)  
/ 38.0ha(耕谷地区) = 62.6%  
(作付内容) 水稲17.0ha、大豆6.6ha、その他0.2ha

○ その他

育苗なえ 8,000箱  
苺・アスパラ・キャベツの栽培



### 経営方針

- ・水稲と大豆はJA名取岩沼に出荷。野菜などは市場へ出荷しています。
- ・耕谷で栽培される餅米は、伊達藩献上の「耕谷もち」として、切り餅加工し直売。さらに精米した餅米を仙台市内の餅店に販売しています。
- ・勤務時間は8時から17時まで。役割分担は水稲部門・作業受託部門・麦部門・大豆部門・野菜部門・加工部門を決めて担当しています。
- ・地元との連携は、高齢者農家及び兼業農家から集落内農家全戸が加入する「耕谷地区集落農業推進対策協議会」の下部組織である「集落営農推進部会」で集落営農の方向性等の検討、作業請負料金、転作関係料金の調整に基づき委託を受けています。

## 5. 社員の育成と研修の受入

この法人では、経営の安定化と継続に不可欠な若い世代の人材(担い手)育成等に取り組み、将来の集落を担っていく農業生産法人を目指して、常に社員の教育に力を注ぎ、頑張っている社員の姿を集落の人に認められることで、社員としての誇りと活力を生み出し、他の同年代の青年にも刺激を与えています。

さらに、ここの経営者は、これまでの実践と経験を活かしながら、多くの視察や講演を引き受け、県内の農業振興の牽引役としての重要な役割も担っています。

## 研修等活動写真



会議室での講演



研修の皆さん



子供達の体験学習



収穫祭

### 今後に向けて（経営者の一言）

耕谷アグリサービスは、地域と共に歩む法人として、会社の理念である「地域、自然との共生を目指し、土地利用型農業を実践します。」ことが、これからも求められ、社訓である「誠心誠意」「真心の奉仕」「未来への挑戦」を怠ることなく、経営者として自ら先頭に立ち、その行動をなにげなしに社員へ背中を見せてやるのが社長の努めであり、部下の信頼と努力する姿勢が生まれ、法人を引き継ぐ担い手が育つことです。

そして、地域に根付いた農業を継続してゆくことが法人としての最大の役割で、地域に大きく貢献することに繋がり、地域の担い手として常に一体感を保ちながらお互いが良くなる方向に向け、さらなる挑戦と努力を続けて行きたいと強く語ってくれました。

#### <法人経営で最も大切なことは>

- ①コンプライアンスの遵守
- ②ガバナンスの保持
- ③従業員のモチベーションの高揚

#### <将来の目標とする経営規模>

総面積 300ha  
(水稲220ha、大豆60ha、麦・その他20ha)



#### 【問い合わせ先】

水土里ネットみやぎ（宮城県土地改良事業団体連合会）  
農地集積センター  
〒980-0011  
仙台市青葉区上杉二丁目2番8号 TEL:022-263-5815 FAX:022-268-6390

